

「マングローブ植林活動」の取組

1999年より、NGOと連携したマングローブ植林活動を継続中。2013年3月末までに東南アジア6カ国、南アジア2カ国、フィジーの計9カ国で約7,993haの面積を植林（累計約84,000トン-CO₂相当）。2007年には「マングローブ植林100年宣言」を発表。植林活動を通じて、地球温暖化防止、生物多様性の保護のみならず、地域経済・社会への貢献、累計577校で実施している「みどりの授業」による環境啓発・人材育成など、社内外の「ステークホルダー」に対し、多様な効果を生み出している。

